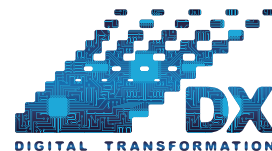


「DX 超入門」の e-ラーニングコースが登場！

お客様にご好評いただいている人気コースを、2 時間の e-ラーニングに凝縮しました。



2 時間で学ぶ DX 速習コース

● 2 時間で学ぶ DX (デジタルトランスフォーメーション) 速習コース (61H08)

企業全体の DX 推進を強力に後押しする、DX 速習 e-ラーニング

～自社や自部門が DX に取り組む第一歩に最適な人気 No.1 入門コース～



このコースでは、「DX」とは何か、何を目的として、何ができるのかを、DX の構成要素、環境や社会変化、新たな技術要素などの具体的な知識を効率的に学べます。

知識や情報を整理しながら、従来とは異なる新たな取り組みのための予備知識と戦略や戦術を考えるベースに
していただくことが可能で、自社や自部門が DX に取り組むための第一歩として最適なコースとなっています。

i-Learning

「DX」とは何かを理解し、ビジネス戦略に役立てる



DX は「DX 推進室」など担当の方、IT 部門の方といった一部のメンバーだけで行うものではありません。全社的に取り組むべき課題と捉えることから始めましょう。

DX が求められる背景、利用されるテクノロジーの概要を理解し、自社の DX 推進につなげていきましょう。

今、企業には DX が求められています。

デジタルを活用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを創出し、競争上の優位性を確立することを DX（デジタルトランスフォーメーション）と呼んでいます。

デジタルテクノロジーの進展により、さまざまな企業が壁を越えて他の業界に参入できるようになりました。

企業存続のためには、デジタルテクノロジーを活用し、その波に乗っていくことが求められています。

「2 時間で学ぶ DX 速習コース」の概要



当コースは、「DX とは何か」「DX を取り巻く環境」「DX でもたらされる社会や生活の変化」「DX を実現する技術要素」の概要を効率的に学習できる 2 時間の e-ラーニングです。

- ・「入門」ではなく、「入門から実践に」進展しつつある企業・部門の方に向けた「超入門」コース
- ・自社や自部門が DX にどのように取り組むかを具体的に検討したい方の情報整理に
- ・「DX とは何か」を理解した上で、現在と今後の展望を検討できるような内容 / 構成

【対象と概要】

技術・営業・事務系といった部署・専門性を問わず、学習できます。

DX について、なんとなくイメージはあるが、活用や検討という具体的なアクションが立てにくい、急速にあふれ出した新しい技術要素や用語について漠然としか理解していないので学びたいという方、部門内の DX の知識統一に役立てたいという方に最適です。

関連コース

※ オンラインクラスでご提供している同等コース（半日）です。

DX 超入門（半日コース）～ デジタルトランスフォーメーションとは何かを理解し、ビジネス戦略に役立てる～（DZN40）

「2時間で学ぶ DX 速習コース」のポイントをご紹介します

ポイント1

▶ DX が求められる背景と概要について、また企業経営になぜ DX が必要かを解説

デジタル・トランスフォーメーション（DX）とは

経済産業省が発表した「DX推進ガイドライン Ver.1.0(平成30年12月)」によると、IT専門調査会社のIDC Japan 株式会社の定義を用いて、下記のように定義しています。

DXとは・・・
「企業が外部エコシステム(顧客、市場)の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム(組織、文化、従業員)の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム(クラウド、モビリティ、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術)を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアル両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること」

ITの活用を通じて、新しいビジネスモデルを確立すること

Copyright 2021 i-Learning co., ltd.

学習画面サンプル

ポイント2

▶ DX で生じる身の回りの環境変化について事例を用いて解説

2018年に米国にオープンしたレジ無しAIコンビニ

日本よりもDXが進んでいる米国の例を見てみましょう。Amazon GOの店舗入り口にはスマホの情報を読み取る機器があるので、QRコードを表示させたあと、スマホを機器にかざします。認証が終わると、あとは自由に商品を手にとっていきます。好きなものを手に携えるか買い物袋に入れて店舗を出るだけで自動的に会計が行われます。Amazon GOではこれを「Just Walk Out Technology」と名付けています。

アプリをスキャンして入場 → 商品を手にとる → 外に出る → レシートが届く

画像出典：Seattle Times
動画：https://youtu.be/NrmMk1Myinc

Copyright 2021 i-Learning co., ltd.

学習画面サンプル

ポイント3

▶ DX で用いられる新しいデジタルテクノロジーについて事例を用いて解説

IoTとは

「Internet of Things」の略称。「様々な物がインターネットにつながる」「インターネットにつながる様々な物」を指しています。インターネットとつながったIoT機器には、情報を発信するタイプもあれば、情報を受信するタイプもあります。

情報を発信するタイプの例

象印マホービン株式会社 IoT電気ポットの「iポット」

電源を入れたり、給湯したりすると、離れて暮らしている家族のスマートフォン等へ動作状況が伝達される

ポットの電源を入れたり、給湯したりするたびに、内蔵されている無線通信機から信号が発信されます。

電気ポットの動作情報は、NTPプロモのLTE（無線通信網）を通じてクラウドセンターの専用サーバーへ送られます。

iポットのご登録が完了した状態で、メールで受け取れるほか、「iポット」または「スマホ」専用アプリ、パソコンで最新のデータを閲覧できます。

<https://www.mimamori.net/product/>

情報を受信するタイプの例

パナソニック株式会社 ロボット掃除機「ルーロ」

外出先からでもスマートフォンで動作させることができる

掃除機が稼働している状態を、スマートフォンで確認できます。

<https://panasonic.jp/soji/products/ruo.html>

Copyright 2021 i-Learning co., ltd.

学習画面サンプル



- ・ DX とは何かについて今まで他のセミナーに参加してもなかなか理解できなかったのですが、やっと理解できました。
- ・ 限られた時間で多くの事を学べました。特に DX とは何か、何故いま DX か、を考えるいい機会になったと思います。
- ・ 自社における DX の導入を進めるモチベーションとなりました。
- ・ DX を実現するにあたって、人を活用していくことを考える必要がある視点は今までなく新鮮でした。
- ・ DX の概念からはじまり、取り巻く環境やツールなど基本的なところが理解できたと思う。
- ・ DX に取り組むための、世の中とてびかっている間違に陥りやすい正しい DX の解説でとても参考になりました。
- ・ DX 推進を検討する立場にいて、改めて整理できた内容が多く非常に役に立った。上長含めたたくさんの方に受けてほしい研修と感じました。

【e-ラーニングコースの特長】



- ・ DX が求められる背景や用いられている技術概要等を、2 時間で効率的に学習
- ・ スピード調整機能や、スクリプト表示機能など自分のペースに合わせた学習が可能
- ・ 各章で振り返りテスト、最後に修了テストがあるため、理解度・定着率が向上
- ・ 学習コンテンツは、スクリプト付きの PDF でダウンロード可能
- ・ 学習後に修了書を発行（すべての学習ページを学習し、すべてのテストの合格 [80 点以上] が必要）

2 時間で学ぶ DX（デジタルトランスフォーメーション）速習コース ～ DX とは何かを理解し、ビジネス戦略に役立てる e-ラーニングコース

コースコード：61H08

受講料：11,000 円（税込）

期間：60 日

標準学習時間：2 時間

【特色とメリット】

DX について、なんとなくイメージはあるが、活用や検討というと具体的なアクションが立てにくい、急速にあふれ出した新しい技術要素や用語について漠然としか理解していないので学びたいという方、部門内の DX の知識統一に役立てたいという方に最適です。

【学習目標】

現在のビジネス変革の DX（デジタルトランスフォーメーション）について、

- ・ 目的、構成要素、変革のステップとともに、用語や利用分野の知識と理解を得ることができます。
- ・ 自社の現在と将来の取り組みや方向づけを検討することができるようになります。

【前提条件】

一般ビジネスパーソン、新人・若手および DX 推進を検討・担当される方で IT の基礎、マーケティング基礎（用語・概念）の知識があるとよい

【内容】

- ・ デジタル・トランスフォーメーション（DX）とは何か
 - ・ 環境変化と企業経営のための DX
 - ・ 社会と生活の変化 私たちの周りの急速な変化
 - ・ インターネットとクラウド・コンピューティング
 - ・ データの活用とデータリテラシー
 - ・ IoT/人工知能（AI）
 - ・ パーチャル化、VR（仮想現実）と AR（拡張現実）
 - ・ 次世代通信 5G
 - ・ DX で加速する応用技術
- まとめ / 修了テスト

お試し版 URL <https://bit.ly/37STKUb>

お申し込み https://www.i-learning.jp/products/detail.php?course_code=61H08

● コース検索

アイラーニング 61H08

検索

※コースコードには、5 桁のコースコードを入れて検索してください

● お問い合わせ先

e-Mail : contact@i-learning.jp

フリーダイヤル：0120-623-629

<9:00~17:00> 土日祝日弊社休業日を除く



i-Learning facebook :
www.facebook.com/ilearningjp/



i-Learning mail magazine :
www.i-learning.jp/form/mail.html



株式会社 アイ・ラーニング

本社：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル

● アイ・ラーニングは、次代を担う人材の育成を支援します。